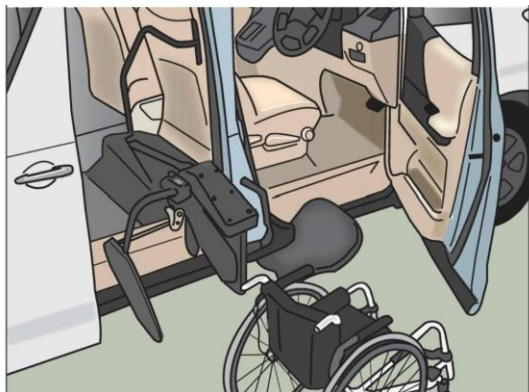


身体障害者用の車いす収納装置の設置に関する資料

車いすを使用している方は、一人で安全に車いすの積み下ろしが出来る必要があります。この装置には、車内に収納するタイプと車外に収納するタイプがあります。身体の状態に適したもので、尚且つ車両に適合した装置を選定する必要があります。また、取り付けには専門業者による作業が必要です。

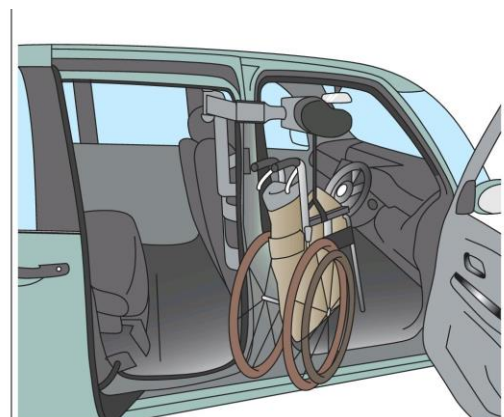
【車内に収納するタイプ】

図1 ウェルライド



(2022年度版 福祉機器 選び方・使い方 テキスト より引用)

図2 ピークレーン



(2022年度版 福祉機器 選び方・使い方 テキスト より引用)

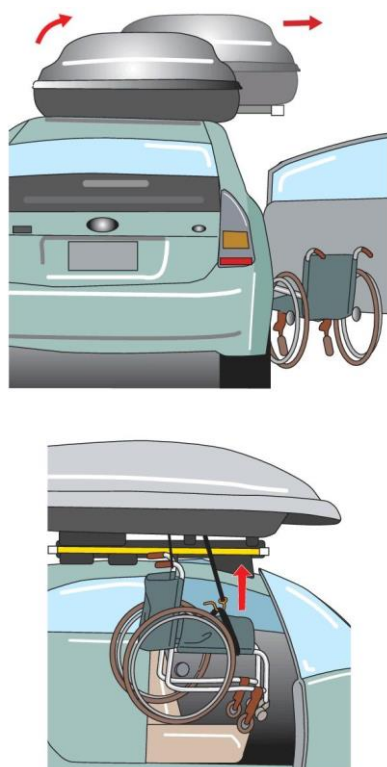
車内後部座席に収納できるので、自動車の全高や外観は変わりません。主にリアスライドドア装着車に用います。

収納可能な車いすの重量;概ね40kg以下

注意;車種により取り付けできない場合があります。

【車外(屋根)に収納するタイプ】

図3 車外積載装置



(2022年度版 福祉機器 選び方・使い方 テキスト より引用)

自動車の屋根に設置したケースに収納するタイプのものです。手元のスイッチ操作で車いすを自動的に地面に下ろすことが可能です。リアスライドドアではない車種での取り付けが可能です。

①車いすクッションの脱着、②車いす座面の折りたたみと展開、③積載装置と車いすの連結と切り離し操作は、運転席に座った状態で行います。

収納可能な車いすの重量：30kg以下

注意：車種により取り付けできない場合があります。

車いす収納装置設置費用の補助について

対象者や補助額等については、各市町村によって異なります。

詳細については、市町村の福祉担当の窓口（別表）でご確認ください。